

---

# 業績ハイライト

－ 2022年3月期第2四半期決算について －



# 目次

1. 損益の状況	…	1
2. 自己資本比率の状況	…	4
3. 貸出金の状況	…	5
4. 預金の状況	…	6
5. 預かり資産の状況	…	7
6. 有価証券の状況	…	8
7. 金融再生法開示債権の状況	…	9
8. 経営指標	…	10
9. 2022年3月期 業績予想及び配当方針	…	10

# 1. 損益の状況

## ① じもとホールディングス連結

(単位:百万円、%)

	2021年9月期		増減率	2020年9月期	2021年3月期 (参考)
	前年同期比	増減率			
連結経常収益	19,812	△ 1,517	△ 7.1	21,329	44,089
経常利益	2,395	975	68.7	1,419	△ 2,275
親会社株主に帰属する中間純利益	1,604	1,540	-	64	△ 3,176

- じもとホールディングスの連結経常収益は198億12百万円、経常利益は23億95百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は16億4百万円となりました。

## ② 2行合算

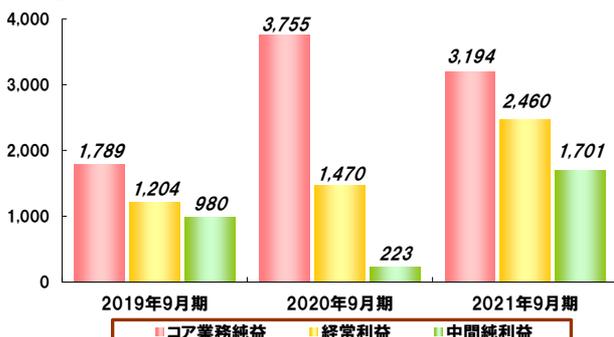
(単位:百万円、%)

	2021年9月期		増減率	2020年9月期	2021年3月期 (参考)
	前年同期比	増減率			
経常収益	17,217	△ 1,526	△ 8.1	18,744	38,762
業務粗利益	14,427	375	2.6	14,051	25,230
資金利益	13,114	△ 1,315	△ 9.1	14,430	27,771
役務取引等利益	1,217	423	53.3	793	2,426
その他業務利益	94	1,267	-	△ 1,172	△ 4,968
うち国債等債券損益	△ 13	1,250	-	△ 1,263	△ 7,549
経費(除く臨時処理分)	11,245	△ 313	△ 2.7	11,558	23,060
うち人件費	5,539	△ 286	△ 4.9	5,826	11,531
うち物件費	4,792	△ 13	△ 0.2	4,806	9,627
実質業務純益(注1)	3,181	689	27.6	2,492	2,170
コア業務純益(注2)	3,194	△ 561	△ 14.9	3,755	9,719
除く投資信託解約損益	3,152	860	37.5	2,291	7,461
一般貸倒引当金繰入額	△ 402	△ 1,450	-	1,048	1,289
業務純益	3,584	2,139	148.1	1,444	880
臨時損益	△ 1,123	△ 1,149	-	25	△ 3,259
うち不良債権処理額	1,000	1,041	-	△ 40	2,760
うち個別貸倒引当金繰入額	919	1,102	-	△ 182	2,404
うち貸倒引当金戻入益	-	-	-	-	-
うち株式等関係損益	74	62	500.1	12	△ 124
経常利益	2,460	989	67.3	1,470	△ 2,378
特別損益	△ 57	△ 60	-	2	△ 345
法人税等合計(△)	701	△ 548	△ 43.8	1,249	413
うち法人税等調整額(△)	372	△ 644	△ 63.3	1,016	74
中間純利益	1,701	1,477	661.3	223	△ 3,138
与信関係費用	595	△ 327	△ 35.5	923	4,001

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

(単位:百万円)



- 2行合算の経常収益は、前年同期比15億26百万円減少の172億17百万円(増減率△8.1%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費が減少した一方で、貸出金利息や有価証券利息配当金の減少等により資金利益が減少したことなどから、前年同期比5億61百万円減少の31億94百万円(増減率△14.9%)となりました。
- 経常利益は前年同期比9億89百万円増加の24億60百万円、中間純利益は前年同期比14億77百万円増加の17億1百万円となりました。

# 1. 損益の状況

## ③ きらやか銀行単体

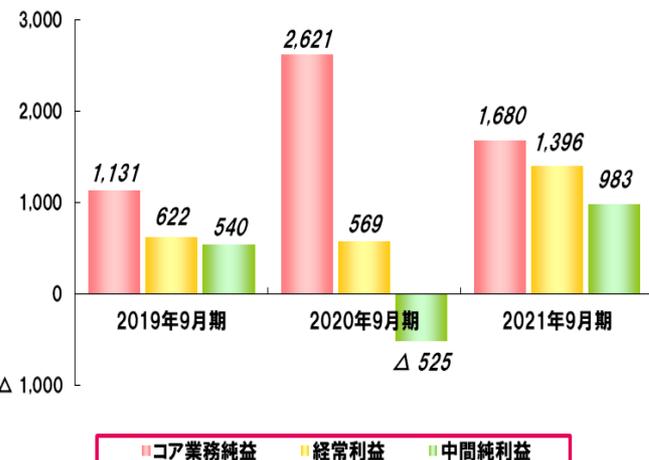
(単位:百万円、%)

	2021年9月期			2020年9月期	2021年3月期 (参考)
		前年同期比	増減率		
経常収益	9,235	△ 1,305	△ 12.3	10,541	22,335
業務粗利益	7,776	△ 1	△ 0.0	7,778	12,083
資金利益	6,756	△ 1,632	△ 19.4	8,389	15,187
うち貸出金利息	5,691	△ 535	△ 8.5	6,227	12,312
うち有価証券利息配当金	1,096	△ 1,131	△ 50.7	2,227	3,010
役務取引等利益	917	337	58.2	579	1,584
その他業務利益	102	1,293	-	△ 1,191	△ 4,687
うち国債等債券損益	△ 11	1,250	-	△ 1,262	△ 7,194
経費(除く臨時処理分)	6,106	△ 312	△ 4.8	6,419	12,730
うち人件費	2,977	△ 204	△ 6.4	3,181	6,330
うち物件費	2,641	△ 97	△ 3.5	2,738	5,428
実質業務純益(注1)	1,669	310	22.8	1,358	△ 647
コア業務純益(※注2)	1,680	△ 940	△ 35.8	2,621	6,547
(除く投資信託解約損益)	1,680	511	43.7	1,169	4,377
①一般貸倒引当金繰入額	△ 152	△ 495	-	343	827
業務純益	1,821	806	79.3	1,015	△ 1,474
臨時損益	△ 425	20	-	△ 446	△ 2,889
②うち不良債権処理額	271	△ 104	△ 27.6	375	2,415
うち個別貸倒引当金繰入額	219	△ 110	△ 33.3	329	2,264
うち貸倒引当金戻入益	-	-	-	-	-
うち株式等関係損益	1	△ 12	△ 87.5	14	△ 132
経常利益	1,396	826	145.2	569	△ 4,364
特別損益	1	1	-	△ 0	△ 335
法人税等合計(△)	414	△ 680	△ 62.1	1,094	155
うち法人税等調整額(△)	248	△ 754	△ 75.2	1,003	125
中間純利益	983	1,508	-	△ 525	△ 4,855
与信関係費用	119	△ 599	△ 83.4	718	3,242

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

(単位:百万円)



- 経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金等の資金利益が減少したことなどから、前年同期比13億5百万円減少の92億35百万円(増減率△12.3%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益が前年同期比で3億円増加、経費が前年同期比で3億円減少したものの、資金利益が減少したことなどから、前年同期比9億40百万円減少の16億80百万円(増減率△35.8%)となりました。なお、前期は特殊要因として有価証券ポートフォリオの見直しに伴い投信解約益14億円を計上しており、投信解約益を除くコア業務純益は前年同期比では5億11百万円増加しております。
- 与信関係費用は、貸倒引当金の戻入などにより前年同期比5億99百万円減少の1億19百万円となりました。
- 以上の結果、経常利益は前年同期比8億26百万円増加の13億96百万円、中間純利益は前年同期比15億8百万円増加し、9億83百万円となりました。

# 1. 損益の状況

## ④ 仙台銀行単体

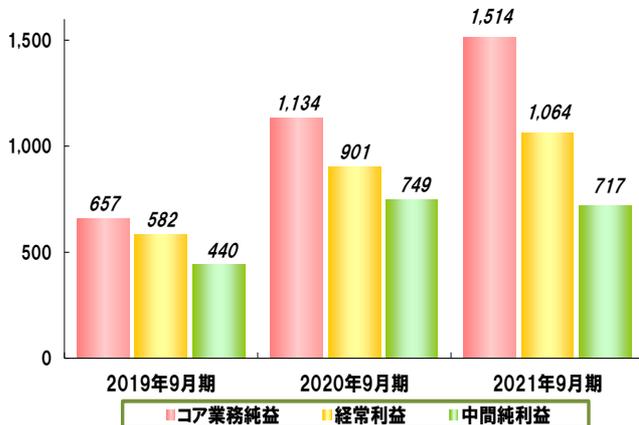
(単位:百万円、%)

	2021年9月期			2020年9月期	2021年3月期 (参考)
		前年同期比	増減率		
経常収益	7,982	△ 220	△ 2.6	8,202	16,426
業務粗利益	6,650	377	6.0	6,273	13,146
資金利益	6,358	317	5.2	6,040	12,584
うち貸出金利息	5,117	212	4.3	4,904	9,984
うち有価証券利息配当金	1,230	49	4.1	1,181	2,660
役務取引等利益	300	86	40.2	214	842
その他業務利益	△ 7	△ 25	-	18	△ 280
うち国債等債券損益	△ 1	△ 0	-	△ 1	△ 354
経費(除く臨時処理分)	5,138	△ 1	△ 0.0	5,139	10,329
うち人件費	2,562	△ 82	△ 3.1	2,644	5,200
うち物件費	2,151	83	4.0	2,068	4,198
実質業務純益(注1)	1,512	378	33.4	1,133	2,817
コア業務純益(注2)	1,514	379	33.4	1,134	3,172
(除く投資信託解約損益)	1,471	348	31.0	1,122	3,083
①一般貸倒引当金繰入額	△ 249	△ 954	-	704	462
業務純益	1,762	1,333	311.0	428	2,355
臨時損益	△ 698	△ 1,170	-	472	△ 369
②うち不良債権処理額	729	1,145	-	△ 416	344
うち個別貸倒引当金繰入額	699	1,212	-	△ 512	139
(貸倒償却引当費用①+②)	479	190	65.9	288	807
うち貸倒引当金戻入益	-	-	-	-	-
うち株式等関係損益	72	74	-	△ 1	8
経常利益	1,064	163	18.1	901	1,985
特別損益	△ 58	△ 61	-	3	△ 10
法人税等合計(△)	287	132	85.2	155	258
うち法人税等調整額(△)	123	110	832.6	13	△ 51
中間純利益	717	△ 31	△ 4.1	749	1,717
与信関係費用	476	271	132.7	204	758

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

(単位:百万円)



- 経常収益は、貸出金利息を中心に資金運用収益が増加したものの、国債等債券売却益の減少によりその他業務収益が減少したことなどから、前年同期比2億20百万円減少の79億82百万円(増減率△2.6%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金の増加等により資金利益が増加したことに加え、役務取引等利益が増加したことなどから、前年同期比3億79百万円増加の15億14百万円(増減率33.4%)となりました。
- 与信関係費用は、一般貸倒引当金繰入額が減少したものの、個別貸倒引当金繰入額の増加等により、前年同期比2億71百万円増加の4億76百万円となりました。
- 経常利益は前年同期比1億63百万円増加の10億64百万円、中間純利益は法人税等合計が増加したことにより前年同期比31百万円減少の7億17百万円となりました。

## 2. 自己資本比率の状況

### ① じもとホールディングス連結

自己資本比率の推移



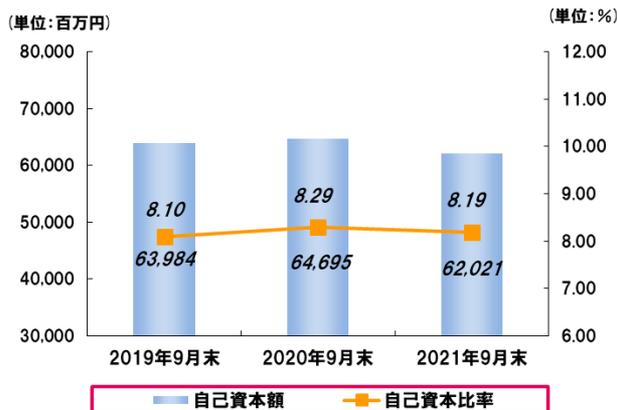
- じもとホールディングスの連結自己資本比率は8.13%となりました。

(単位: %)

	2021年 9月末	2020年 9月末比	2020年 9月末
連結自己資本比率	8.13	△ 0.16	8.29

### ② きらやか銀行

自己資本比率(単体)の推移



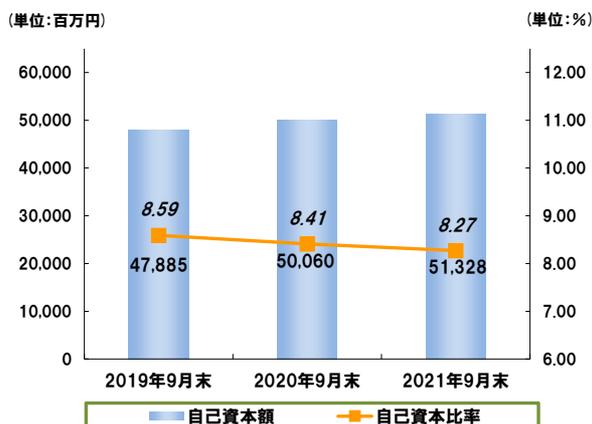
- 単体の自己資本比率は、自己資本額が減少したことなどから、2020年9月末比0.10ポイント低下し8.19%となりました。

(単位: %)

	2021年 9月末	2020年 9月末比	2020年 9月末
自己資本比率【単体】	8.19	△ 0.10	8.29
自己資本比率【連結】	8.05	△ 0.10	8.15

### ③ 仙台銀行

自己資本比率(単体)の推移



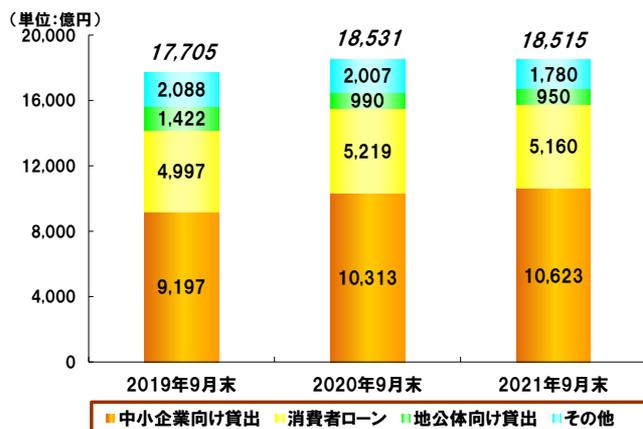
- 単体の自己資本比率は、中間純利益を7億17百万円計上したことなどにより自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加などに伴いリスクアセット(分母)が増加したことから、2020年9月末比0.14ポイント低下の8.27%となりました。

(単位: %)

	2021年 9月末	2020年 9月末比	2020年 9月末
自己資本比率【単体】	8.27	△ 0.14	8.41
自己資本比率【連結】	8.27	△ 0.15	8.42

# 3. 貸出金の状況

## ① 2行合算



- 2行合算の貸出金残高は、2020年9月末比16億円減少の1兆8,515億10百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2021年9月末	2020年9月末比	増減率	2020年9月末
貸出金(末残)	1,851,510	△ 1,600	△ 0.0	1,853,111
うち中小企業向け貸出残高	1,062,388	31,013	3.0	1,031,375
うち消費者ローン	516,031	△ 5,908	△ 1.1	521,940
うち住宅ローン	475,156	△ 4,032	△ 0.8	479,189
うち地方公共団体向け貸出	95,005	△ 4,048	△ 4.0	99,053

## ② きらやか銀行

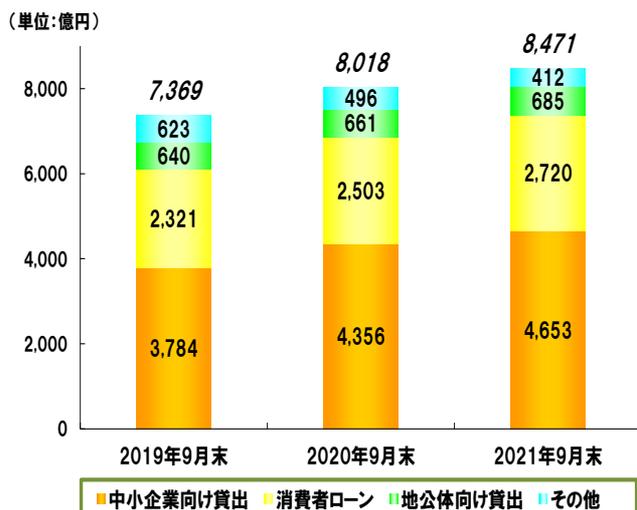


- 貸出金残高は中小企業向け貸出は増加したものの、消費者ローンが減少したことなどから、2020年9月末比469億59百万円減少の1兆43億30百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、本業支援を着実に実施した結果、2020年9月末比12億82百万円増加の5,969億93百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローン残高が減少したことなどから、2020年9月末比276億17百万円減少の2,439億90百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2021年9月末	2020年9月末比	増減率	2020年9月末
貸出金(末残)	1,004,330	△ 46,959	△ 4.4	1,051,289
うち中小企業向け貸出残高	596,993	1,282	0.2	595,711
うち消費者ローン	243,990	△ 27,617	△ 10.1	271,607
うち住宅ローン	228,382	△ 26,626	△ 10.4	255,009
うち地方公共団体向け貸出	26,462	△ 6,413	△ 19.5	32,875

## ③ 仙台銀行



- 貸出金残高は、2020年9月末比453億59百万円増加の8,471億80百万円となり、仙台銀行として過去最高の貸出金残高となりました。
- 中小企業向け貸出は、新型コロナウイルス感染症関連の支援を継続したことにより、2020年9月末比297億31百万円増加の4,653億95百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローン残高が増加したことなどから、2020年9月末比217億8百万円増加の2,720億41百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、2020年9月末比23億64百万円増加の685億43百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2021年9月末	2020年9月末比	増減率	2020年9月末
貸出金(末残)	847,180	45,359	5.6	801,821
うち中小企業向け貸出残高	465,395	29,731	6.8	435,664
うち消費者ローン	272,041	21,708	8.6	250,333
うち住宅ローン	246,773	22,594	10.0	224,179
うち地方公共団体向け貸出	68,543	2,364	3.5	66,178

# 4. 預金（譲渡性預金を含む）の状況

## ① 2行合算



- 2行合算の預金残高は、2020年9月末比95億14百万円増加の2兆5,075億66百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2021年9月末	2020年9月末比	増減率	2020年9月末
	預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,507,566	9,514	0.3
うち個人預金	1,607,661	43,985	2.8	1,563,676
うち法人預金	641,161	△ 21,849	△ 3.2	663,011
うち公金預金	253,185	△ 11,516	△ 4.3	264,701

## ② きらやか銀行

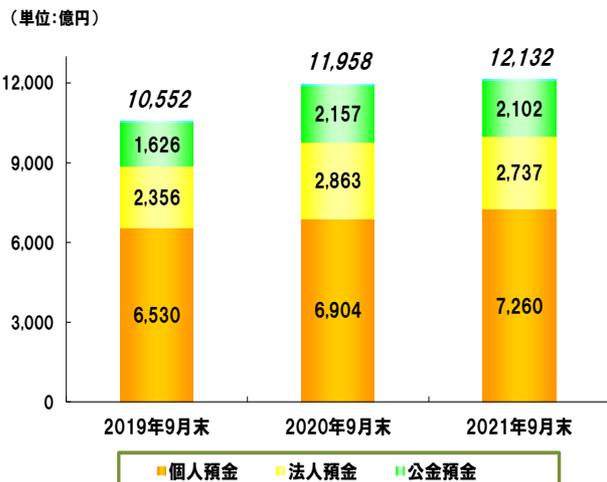


- 預金残高は、2020年9月末比78億82百万円減少の1兆2,942億70百万円となりました。
- 個人預金は、流動性預金が増加したことなどから、2020年9月末比84億41百万円増加の8,816億38百万円となりました。
- 法人預金は、定期性預金が減少したことなどから、2020年9月末比92億円減少の3,674億51百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2021年9月末	2020年9月末比	増減率	2020年9月末
	預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,294,270	△ 7,882	△ 0.6
うち個人預金	881,638	8,441	0.9	873,197
うち法人預金	367,451	△ 9,200	△ 2.4	376,651
うち公金預金	42,943	△ 6,019	△ 12.2	48,962

## ③ 仙台銀行



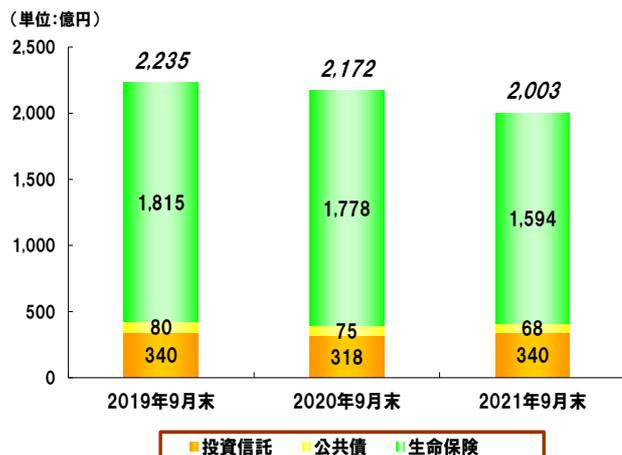
- 預金残高は、2020年9月末比173億96百万円増加の1兆2,132億95百万円となりました。
- 個人預金は、2020年9月末比355億43百万円増加の7,260億22百万円となりました。
- 法人預金は、2020年9月末比126億49百万円減少の2,737億10百万円となりました。
- 公金預金は、2020年9月末比54億96百万円減少の2,102億41百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2021年9月末	2020年9月末比	増減率	2020年9月末
	預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,213,295	17,396	1.4
うち個人預金	726,022	35,543	5.1	690,478
うち法人預金	273,710	△ 12,649	△ 4.4	286,360
うち公金預金	210,241	△ 5,496	△ 2.5	215,738

# 5. 預かり資産の状況

## ① 2行合算

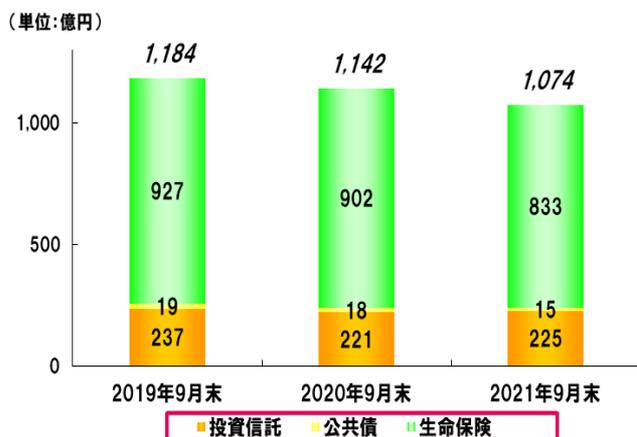


- 2行合算の預かり資産残高は、2020年9月末比169億48百万円減少の2,003億14百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2021年9月末	2020年9月末比	増減率	2020年9月末
預かり資産(末残)	200,314	△ 16,948	△ 7.8	217,262
うち投資信託	34,011	2,148	6.7	31,862
うち公共債(国債等)	6,892	△ 613	△ 8.1	7,505
うち生命保険	159,410	△ 18,483	△ 10.3	177,894

## ② きらやか銀行

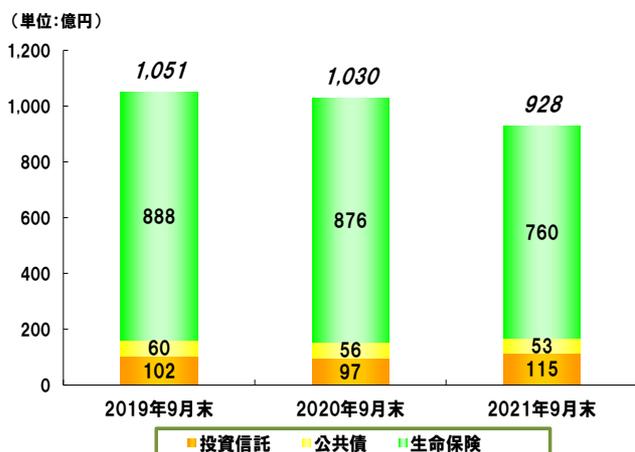


- 預かり資産残高は、2020年9月末比67億81百万円減少の1,074億24百万円となりました。
- 投資信託は、2020年9月末比3億84百万円増加の225億11百万円となりました。
- 公共債は、2020年9月末比2億26百万円減少の15億80百万円となりました。
- 生命保険は、2020年9月末比69億39百万円減少の833億33百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2021年9月末	2020年9月末比	増減率	2020年9月末
預かり資産(末残)	107,424	△ 6,781	△ 5.9	114,206
うち投資信託	22,511	384	1.7	22,126
うち公共債(国債等)	1,580	△ 226	△ 12.5	1,806
うち生命保険	83,333	△ 6,939	△ 7.6	90,272

## ③ 仙台銀行



- 預かり資産残高は、2020年9月末比101億66百万円減少の928億90百万円となりました。
- 投資信託は、お客さまの資産運用ニーズへ積極的に対応したことにより、2020年9月末比17億64百万円増加の115億円となりました。
- 公共債は、2020年9月末比3億86百万円減少の53億12百万円となりました。
- 生命保険は、2020年9月末比115億43百万円減少の760億77百万円となりました。

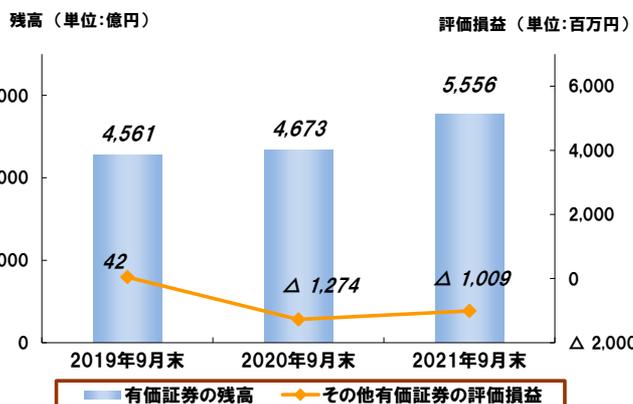
(単位:百万円、%)

	2021年9月末	2020年9月末比	増減率	2020年9月末
預かり資産(末残)	92,890	△ 10,166	△ 9.8	103,056
うち投資信託	11,500	1,764	18.1	9,735
うち公共債(国債等)	5,312	△ 386	△ 6.7	5,699
うち生命保険	76,077	△ 11,543	△ 13.1	87,621

# 6. 有価証券の状況

## ① 2行合算

- 2行合算の有価証券残高は、2020年9月末比882億75百万円増加の5,556億33百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、2020年9月末比2億64百万円改善し、10億9百万円の評価損となりました。



①有価証券の残高 (単位: 百万円, %)

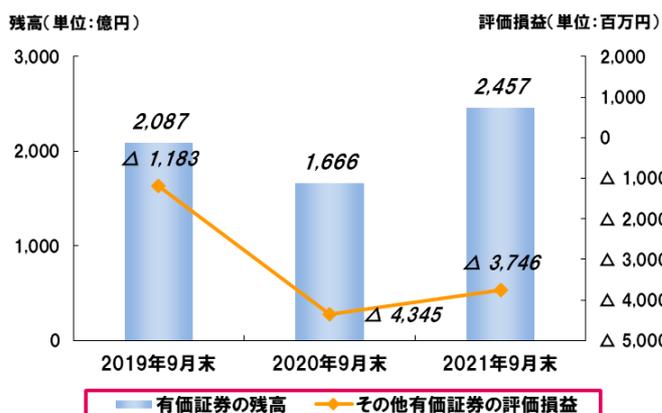
	2021年9月末	2020年9月末比	増減率	2020年9月末
有 価 証 券	555,633	88,275	18.8	467,358
国 債	11,863	△ 7,716	△ 39.4	19,579
地 方 債	52,581	12,188	30.1	40,393
社 債	72,655	△ 13,719	△ 15.8	86,374
株 式	8,179	△ 947	△ 10.3	9,127
そ の 他 証 券	410,353	98,469	31.5	311,883

②その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

	2021年9月末	2020年9月末比	2020年9月末
そ の 他 有 価 証 券	△ 1,009	264	△ 1,274
株 式	226	167	59
債 券	△ 1	△ 106	104
そ の 他	△ 1,234	203	△ 1,438

## ② きらやか銀行

- 有価証券残高は、運用商品の見直しを行い有価証券ポートフォリオを再構築したことなどから、2020年9月末比791億17百万円増加の2,457億41百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、前期に有価証券有価証券含み損を一括処理し、有価証券ポートフォリオを再構築しましたが、その後海外金利の上昇により評価損が拡大したことから、37億46百万円の評価損となりました。



①有価証券の残高 (単位: 百万円, %)

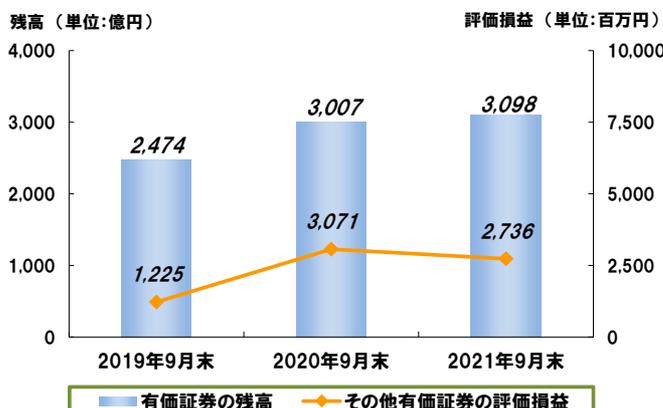
	2021年9月末	2020年9月末比	増減率	2020年9月末
有 価 証 券	245,741	79,117	47.4	166,623
国 債	10,346	△ 7,198	△ 41.0	17,545
地 方 債	8,086	△ 538	△ 6.2	8,624
社 債	41,388	△ 11,063	△ 21.0	52,451
株 式	6,420	△ 1,488	△ 18.8	7,908
そ の 他 証 券	179,499	99,405	124.1	80,093

②その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

	2021年9月末	2020年9月末比	2020年9月末
そ の 他 有 価 証 券	△ 3,746	599	△ 4,345
株 式	179	169	9
債 券	14	△ 144	158
そ の 他	△ 3,939	574	△ 4,514

## ③ 仙台銀行

- 有価証券残高は、預金残高の増加に伴い債券の運用額を増加させたことにより、2020年9月末比91億57百万円増加の3,098億92百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、海外金利の変動の影響を受けた投資信託の評価益の減少を主因として、2020年9月末比3億34百万円減少し、27億36百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位: 百万円, %)

	2021年9月末	2020年9月末比	増減率	2020年9月末
有 価 証 券	309,892	9,157	3.0	300,734
国 債	1,516	△ 517	△ 25.4	2,034
地 方 債	44,495	12,726	40.0	31,769
社 債	31,267	△ 2,655	△ 7.8	33,923
株 式	1,759	540	44.3	1,218
そ の 他 証 券	230,853	△ 935	△ 0.4	231,789

②その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

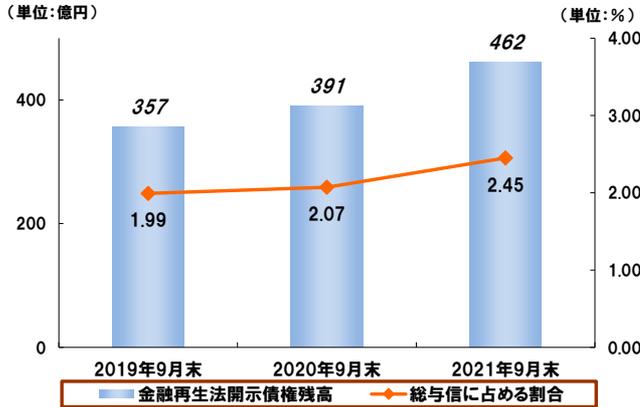
	2021年9月末	2020年9月末比	2020年9月末
そ の 他 有 価 証 券	2,736	△ 334	3,071
株 式	47	△ 2	49
債 券	△ 16	38	△ 54
そ の 他	2,705	△ 370	3,075

(注) その他有価証券の評価については、決算日の市場価格に基づいております。

# 7. 金融再生法開示債権の状況

## ① 2行合算

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2020年9月末比70億94百万円増加の462億3百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2020年9月末比0.38ポイント上昇し、2.45%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

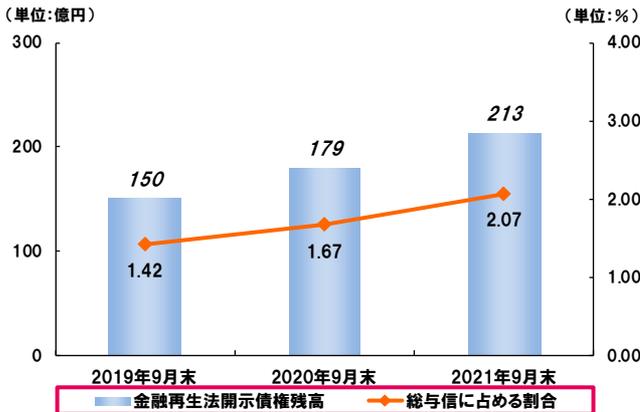
	2021年9月末	2020年9月末比	2020年9月末
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,630	1,076
危険債権	35,362	5,332	30,030
要管理債権	6,210	685	5,525
合計(A)	46,203	7,094	39,109
正常債権	1,839,574	△ 3,944	1,843,519
総与信額(B)	1,885,777	3,149	1,882,628
(A/B)	2.45	0.38	2.07

②金融再生法開示債権の保全状況(2021年9月末) (単位:百万円、%)

	債権額(A)	保全額(B)	保全率(B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,630	4,630	2,124	2,506	100.00
危険債権	35,362	29,645	25,082	4,563	83.83
要管理債権	6,210	2,118	1,778	339	34.11
合計	46,203	36,394	28,985	7,408	78.76

## ② きらやか銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2020年9月末比34億33百万円増加の213億96百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2020年9月末比0.40ポイント上昇し2.07%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

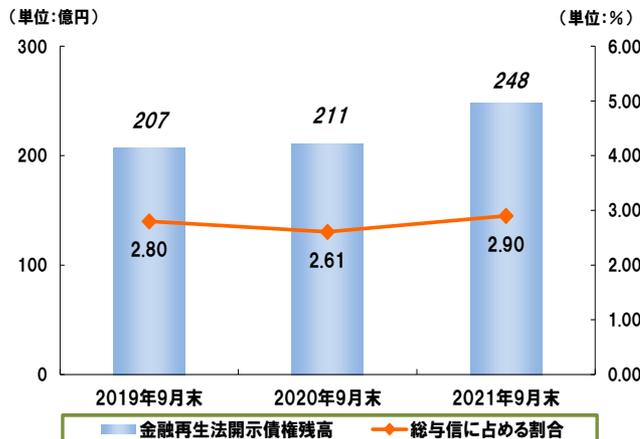
	2021年9月末	2020年9月末比	2020年9月末
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,049	596
危険債権	15,764	3,031	12,732
要管理債権	2,582	△ 194	2,777
合計(A)	21,396	3,433	17,963
正常債権	1,009,683	△ 46,748	1,056,432
総与信額(B)	1,031,080	△ 43,315	1,074,396
(A/B)	2.07	0.40	1.67

②金融再生法開示債権の保全状況(2021年9月末) (単位:百万円、%)

	債権額(A)	保全額(B)	保全率(B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,049	3,049	1,245	1,804	100.00
危険債権	15,764	10,758	9,523	1,235	68.24
要管理債権	2,582	555	290	264	21.50
合計	21,396	14,363	11,059	3,304	67.13

## ③ 仙台銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2020年9月末比36億60百万円増加の248億6百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2020年9月末比0.29ポイント上昇し2.90%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

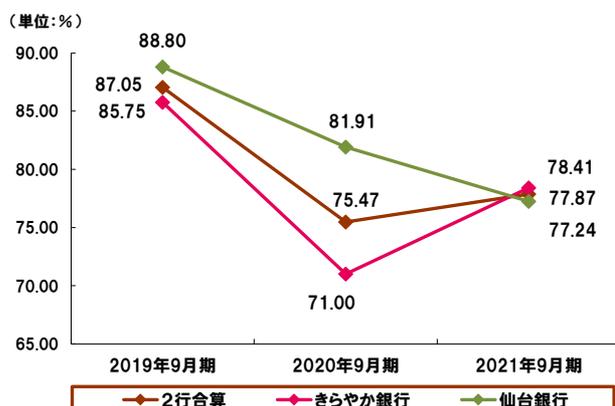
	2021年9月末	2020年9月末比	2020年9月末
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,580	479
危険債権	19,598	2,300	17,297
要管理債権	3,628	880	2,747
合計(A)	24,806	3,660	21,145
正常債権	829,890	42,804	787,086
総与信額(B)	854,697	46,464	808,232
(A/B)	2.90	0.29	2.61

②金融再生法開示債権の保全状況(2021年9月末) (単位:百万円、%)

	債権額(A)	保全額(B)	保全率(B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,580	1,580	878	701	100.00
危険債権	19,598	18,886	15,559	3,327	96.36
要管理債権	3,628	1,563	1,488	75	43.09
合計	24,806	22,030	17,925	4,104	88.80

## 8. 経営指標

- 2行合算のコアOHR（債券関係損益を除く）は、2020年9月期比2.40ポイント上昇し、77.87%となりました。



(単位:%)

		2021年9月期	2020年9月期比	2020年9月期
コアOHR	2行合算	77.87	2.40	75.47
	きらやか銀行	78.41	7.41	71.00
	仙台銀行	77.24	△ 4.67	81.91

## 9. 2022年3月期 業績予想及び配当方針

### ① じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

- じもとホールディングスの2022年3月期通期の連結業績予想は、経常利益37億円、親会社株主に帰属する当期純利益31億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの2022年3月期の中間配当金は、1株あたり10円をお支払いいたします。また、期末配当金は、10円を予定しております。

(単位:百万円)

	2022年3月期	(参考) 2021年3月期
経常利益	3,700	△ 2,275
親会社株主に帰属する当期純利益	3,100	△ 3,176

基準日	中間	期末	年間
2022年3月期	10円00銭	10円00銭	20円00銭
(参考)2021年3月期	1円50銭	-	-
	-	10円00銭	-

※当社は、2020年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。また、2021年3月期の1株あたりの年間配当合計につきましては、単純合算ができないため、「-」と表示しております。

### ② 子銀行の個別業績予想

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益15億円、当期純利益15億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益20億円、当期純利益15億円を見込んでおります。

#### きらやか銀行

(単位:百万円)

	2022年3月期	(参考) 2021年3月期
経常利益	1,500	△ 4,364
当期純利益	1,500	△ 4,855

#### 仙台銀行

(単位:百万円)

	2022年3月期	(参考) 2021年3月期
経常利益	2,000	1,985
当期純利益	1,500	1,717